

柔らかなココロ



「瞬時の仕掛け技」

嫁いで4回目のお正月。年末の忙しさに引き続き、今度は家族の行事に重点を置く時間がやってくる。妻として、母として、嫁として様々な顔で家族に向き合う。

いつもバタバタしている私が自宅に常にいることを不思議がって3歳の長男坊は「お仕事は??今日はどこにも行かないの??」と聞いてきた。それも冬休み期間中ほぼ毎朝。

息子から見ると仕事に行く前の顔つきとお休みの日の顔つきはどうも違うらしい。

確かに仕事に出かける前の朝は戦争だ。自然に早口になるしサクサク行動しなければ出発時刻に間に合わない。顔つきも必然として変わる。

ともあれ、子どもの行動は時に読みづらい。ある程度は予測出来ていてもアクシデント・ハプニングがつきものである。いつもすんなりお出かけしてくれるのに突然「今日はお家で遊ぶ!!!」と息子。「いやいや、さなちゃん(ベビーシッターさん)が待ってるよ～」と私。「やだやだやだやだ!」と息子。こんなやり取りが永遠に続くのではなからうか・・・と思ったその時、「やっぱり行く♡」男心は理解不能。ともあれ、その時その時の状況に合わせて技の仕掛けを選ばなければ行けない。それも瞬時に。

そうそう、そうだった柔道とまたリンクしてしまう。考えるより先に体が自然に動いた時が本物の技がかかる時だ・・・と思っていた現役時代。まさか子育てでもその理論が通じるとはと、ハットする。無理に技を仕掛けると待ってましたとばかりに空かされたり、ばっちり全力で拒否されたり。だから、極力流れに身を任せ、いざという時に仕掛ける技を見極める。

予測し、対策をとり、対応する。そして時に運を味方につけ勝利という名のご褒美を獲得する。それは子育てで言うと、何気ない息子の笑顔だったりする。

その笑顔を絶やすことがないように、全力で息子と向き合い、抱っこをせがまれば全力で抱っこをしてあげる。

そして今日もまた1歳と3歳の息子を両手に抱っこしたまま道場までの階段を上る。そう、私はこのために柔道をやってきたんだと、自身に言い聞かせながら。

(近藤 優子)